

組合員の
ための**無料法律相談****要予約**

1月12日(水)10時～11時半

●担当/山口第一法律事務所
内山 新吾 弁護士●場所
生協ふれあい会館2階「相談室」

どんなご相談でもお気軽にどうぞ♪

☎0836-34-2510

健康のひろば

健康をつくる 平和をつくる いのち輝く社会をつくる

●発行  **医療生活協同組合健文会**

●発行責任者 専務理事 森 健弘

医療生協健文会現勢 2021年11月30日現在

●組合員	18,668人
●出資金額	613,017,000円
●平均出資金額	32,838円
●支部数	21支部
●登録班数	152班

住所変更等ありましたら、
まちづくり組合員活動支援部までご連絡ください〒755-0005 宇部市五十目山町16-23
TEL 0836-33-6644 FAX 0836-33-6651
<https://www.kenbunkai-yamaguchi.jp>

定款地域(活動する地域)・・・山口県全域

みんないっしょに笑える年になあれ



こぐま保育園の日々⑬

新年の「ごあいさつ」

医療生協健文会 理事長

野田 浩夫



明けましておめでとございます。

2019年末に世界第1例目が報告された新型コロナウイルスは2021年も大流行し、日本の大都市部を深刻な医療崩壊に陥れました。今もまた新変異株の脅威の中で新年を迎えています。新自由主義に導かれた資本主義経済のグローバル化がこのようなパンデミックを生んだのは間違いありません。

被害は、国際的にも国内的にも、貧困と格差の谷間を這って広がりました。変異株の大半がワクチンの届かなかったグローバルサウスにおいて発生し、国内においては、非正規・女性・若年の労働者、零細自営業者に被害が集中しました。

さらに気候危機が人類の安全と生存にとって一刻の猶予もない段階に至っています。足元では医療自体が温室効果ガス排出の5%に責任がある巨大な汚染産業です。病気の発生と重症化を予防することが極めて切実になっています。

どんなパンデミックにも動じないアクセスを実現しながらも環境汚染は軽減する2つの課題において、貧困・格差による健康破壊と全力で闘う民医連・医療生協運動が主役と信じます。みなさまのご奮闘を心から願うものです。

末筆ではありますが、今年がみなさまにとって良い年になるようお祈り申し上げます。

健文会ホームページで
健康のひろばを見ることができます



こちらのQRコードからも読み取って入れます
<https://www.kenbunkai-yamaguchi.jp>

医療・介護・
くらしの事など...

何でも相談ダイヤル

一人で悩みをかかえていますか？
まずはフリーダイヤルまでご連絡ください。
「困った」解決をお手伝いします。

専用
ダイヤル☎ (0120) 34-2510
まちづくり組合員活動支援部

平日の月曜～金曜
あさ9時～17時30分
まで受付

無料

「誰もが健康で居心地よく くらせるまちづくりへ」挑戦する2022年

2030年ビジョン達成に向けて

健文会が加盟する医療福祉生協連の創立から十数年が経つなかで社会環境は大きく変わりました。個人を大切に、お互いに尊重する社会、多様性を大切にする社会へと進歩するとともに、世界的にもSDGsにとりくむことがテーマとなっている今、医療福祉生協の2030年ビジョンは私たちの10年後のありたい姿です。

新型コロナウイルス感染症拡大による困難が私たちに突き付けられていますが、感染予防を引き続き徹底しながら、つながりづくりの再挑戦をはじめましょう。医療福祉生協がまちづくりになくてはならない存在に向けて。

事業所活動

在宅介護
福祉事業部

部長 佐々木 広子

「もっとリハビリがしたい」 に寄り添って



昨年は、コロナウイルス感染症対策と介護報酬改定の対応にがんばった1年でした。マスクを着けることが苦手だった利用者さんも最近では当たり前のように装着され、「マスクをお願いします」と声をかけることも少なくなりました。

今年度は、「もっとリハビリがしたい」という声に寄り添って、デイサービスげんきのリハビリ環境の強化にとりくんで参ります。デイサービスで楽しく過ごしながら健康づくりができるよう工夫を凝らしてとりくみます。



歯科部

部長 篠原 照恵

安心の治療と啓蒙に とりくみたい



2021年は2人の医師が退職となる一方で、4月に三田耕一先生を迎えることができました。新たな挑戦としては、生協小野田診療所にCAD/CAM(キャット/キヤム)という機械を導入しました。

でも安心して治療を受けていただけます。口腔内の健康が全身にさまざまな影響を与えることが次々と明らかになっています。2022年は治療だけでなくオーラルフレイル予防の啓蒙活動などにも積極的にとりくんでまいります。



宇部協立病院

院長 上野 尚

医療体制と地域連携の 強化をすすめる年に



日本中で保健所を減らし、一般病床を減らし、東京オリンピックを強行開始と数々の失政のはてに、11年ぶりの自殺者の増加、雇止め11万5千人、自宅での感染死亡者567人と助かる命が取りこぼされ、医療機関が社会的に不可欠なものと再認識された2021年でした。

2022年も宇部協立病院は救急要請をしつかりと受け入れられるよう、医療体制の強化と地域の医療機関との連携の強化をすすめていきたいと考えています。



組合員活動

教育・人づくり

いま「学ぶ」ことの大切さがいっそう重要に 教育委員会 委員長 来嶋 淳一

いま、コロナの世界的大流行によって、先進国と言われていた日本の実態も明らかになりました。

コロナ禍で医師や病床など医療資源を増やすと言いながら実際は減らす。温室効果ガスを減少させると言いながら、国内とアジア各国に石炭火力発電所を増やす。再エネが重要と言いながら、一方で原発比率を3倍に増やす。失業者があふれ、給付金を必要とする人に

は届かず、物価は上がり、賃金や年金は低下、大企業は大儲けして巨富をためこんでいる。日本を守ると言いつつ米国の戦争の片割れを担う危険の拡大。

こんな時代だからこそ、「学ぶ」ことの大切さがいっそう重要になってきています。私たちが学ぶ目的は、新たな知識を吸収し身につけることだけでなく、物事の本質、真の目的をつかむ力を身につけるためです。



常盤支部
2030年ビジョン学習会

まちづくり

人と人をつないで笑顔ふやしたい まちづくり委員会 委員長 原田 裕子

有償ボランティア「ここって」の活動を開始して2年が過ぎました。利用者は月平均約60人です。1年経つ頃にはいろんな問題点が見えてきました。どこまで支援したらいいの？利用者さんの持っている力まで奪ってしまっていない？利用者さんのけがなど。一つひとつ話し合い、検討してきました。

この頃では、「利用者さんが少し自分で料理をし始めたよ」という声もあり、ここっての活動が単にお仕事をするの

ではなく、そこに人と人のコミュニケーションが生まれ、利用者さんと支援員の間に「安心なつながり」ができていていることを感じています。にじっここの活動も、子どもの癒しの場になって続いています。こんな居場所があちこちにあるといいなと思います。

人と人をつなぎ、どの人も安心して生活できるまちづくりを目指します。来年も私たちのまちに笑顔が増えていくように！



宇部地域
何でも相談会&食材支援活動

サロンゆず にじっこ

ここって支援員研修会
車いす補助体験

健康づくり

「元気で長生き」できる活動を 健康づくり委員会 委員長 浅田 旭弘

2021年は「タオル体操」でおおいに健康づくり・つながりづくりにとりくみました。続けることでからだがとても元気になったと好評です。

2022年も多くの人たちとつながります。なるべくからだを動かして、噛む力をつけてしっかり食べることを大切にした、フレイル・オーラルフレイルを予防する活動を旺盛にひろげていきます。協同の力でチャレンジしていきましょう。



見初神原支部
ころばん体操



美祿支部
長息生活体験

社保・平和運動

健康で文化的な日本をつくる年に 社保平和委員会 委員長 木村 和彦

昨年、新型コロナで「大災害」となりました。政治が国民のいのちと生活に直結していることがよく分かる1年でした。

医療生協健文会をめぐる情勢も前進したことがたくさんありました。食糧支援、「ここって」などの相談活動で、要求が解決すると医療生協とつながりができて、組合員が増えたり、支援員が増えたりしました。平和フェスタや宇部空襲で体験者のお話を聞き、郷土の歴史を学びました。

今年は、健康で文化的な日本を地元からつくるために、協同の力で前進させましょう。希望の年になりますように。



山口市
いのちを守る緊急中央集会

健康をつくる。平和をつくる。 いのち輝く社会をつくる。

2022年はどんな年になる？

2021年10月31日に投開票された総選挙。政治の転換をめざして、はじめて市民と野党共闘による政権交代をめざすたかいたとなりました。岸田自公政権は、格差是正と分配政策を柱に、なかみは富裕層・大企業を優遇する従来の政治と変わらなくなり、新自由主義を継承することが分かってきました。

安倍・菅政権と9年間続いた強権政治で壊された立憲主義と民主主義。消費税は2度の税率アップで10%へ引き上げ。コロナ失政で損なわれたいのちと暮らし。深刻化した格差・貧困でとりわけ女性層におおきな影響を与えた失業・DV被害・自殺率などにも反省の姿勢なく、今後も公的病院の大幅削減、「75歳以上の医療費2割化」、年金給付や生活保護費の削減など、社会保障を切り捨てる政策が、予測されます。

また、日本維新の会が第3党となったことで改憲の動きは加速し、憲法を守るたかいは大きな正念場を迎えていくこととなります。

わたしたちは何をすべき？

01 気候危機・原発推進ストップへ



地球温暖化による異常気象や自然災害は多くの人の生活を破壊しました。これ以上の危機を食い止めるためにも化石燃料を中心とする社会から、再生可能エネルギーへの転換が何より求められています。加えて化石燃料に代わるエネルギーとして政府は原子力発電を推進する立場を示しています。福島第一原発事故から10年以上が経過した今なお、廃炉作業は困難を極め、放射性廃棄物の処理方法もまったく目処がたっておりません。

多くの人の生活、自然環境を一瞬にして破壊してしまう原発推進をストップさせ、持続可能な社会に向けて、大きく舵をきるときです。

折り紙 ギャラリー



琴芝支部
石田 香津代さん

読者の声

【厚南支部 高根純子さん】

医療生協健文会が地域に根ざした医療活動を推進・発展させようと努力していることに誇りをもっています。

これからも会員、利用者の身近な医療機関として頑張っで広がっていくことを祈念しています。

【小野田南支部 上田桂子さん】

こぐま保育園の日々「やまの運動会」(12月号)。子どもたちののはしゃぐ声、力強い足音が聞こえてくるようです。思わず孫たちに思いを馳せ……

小羽山小6年生の修学旅行がコロナ禍故に県内で。

恩田中央支部 組員活動

ものづくり班(新班)で「雑巾づくり」

恩田中央支部では、「SGDs」にこだわり、エコな活動にとりこんでいます。この夏からはビニール使用を抑えるため健康のひろばの手配りに布バックをつくりました。秋からはタオルで雑巾をつくり、作りおきをしていました。

12月6日に雑巾の寄贈式をおこない、飯田総看護師長(宇部協立病院)に代表で受け取っていただきました。今後有志で楽しみながらものづくりをしようとして、「ものづくり班」として登録。この活動を広げていきます！



▲雑巾の贈呈式の様子

ふじやま支部 『わんさか、オープン 新たまり場』

12月24日、組員・たままり場周辺の地域の方を招き、お披露目会をしました。当日は他支部からも大勢お越しいただきました。

新しいたままり場は、『小さいけれどいつも沢山の人が集う場所に！』という思いを込めて『わんさか』とネーミングしました。

班会はもちろん、ご近所の通りがかりの方が看板メニューを見て、ちょっとのぞいて参加できる、そんな“ほっと”できる場所にしたいと考えています。ミニミニ野菜市やカフェなど、いろんな方の力を借りて、誰もが楽しめるたままり場をめざしていきます。

常務理事 河野 由美子



30人学級を 求める署名

ご協力いただいた「30人学級請願署名」は2,947筆。6名の紹介議員を得て、山口県議会事務局に提出しました。ありがとうございました。

少人数学級署名を進める宇部の会
代表世話人 小畑 大作



戦争について、特に宇部大空襲について学ぶ機会となつたとのこと。戦争は全てを破壊する。尊い命は大切に守られなければならないと心に刻んだことでしょ。大人たちも頑張らないと、守らないと!!

04 「9条守れ」の 声を草の根から あげよう

総選挙を受け、自民・公明・維新の会などの改憲勢力が衆院の3分の2を占める下で自民党幹部などから「岸田政権の任期中に改憲」への前のめりの発言が相次いで出されています。9条に自衛隊を明記し、日本を再び戦争できる国にする危険な動きが迫っています。改憲勢力は国民の関心ごとであるコロナ危機を口実に「緊急事態条項」創設を優先し、改憲論議を加速させる考えです。

平和であってこそ、いのちは輝きます。平和を願う多くの人と一致団結し、「9条守れ」の声を草の根からあげていくときです。



03 医療・介護・ 保健所の 拡充をいまこそ



新型コロナウイルス感染症拡大により、医療体制がひっ迫し、公衆衛生体制の脆弱さ、政府の無為無策が明らかとなりました。軽症者はホテルで療養生活させられ、重症者を受け入れる病床が確保できず、救えるはずのいのちが多数失われました。自治体や保健所の業務も機能不全に陥りました。「平成の大合併」により自治体職員と保健所数が大きく減らされたことが影響しています。さらにコロナ禍で貧困と格差が拡大し、派遣や非正規で働く立場的に弱い人たちが深刻な影響を受けました。

社会保障は「切り捨て」ではなく、「拡充」に改めるときです。

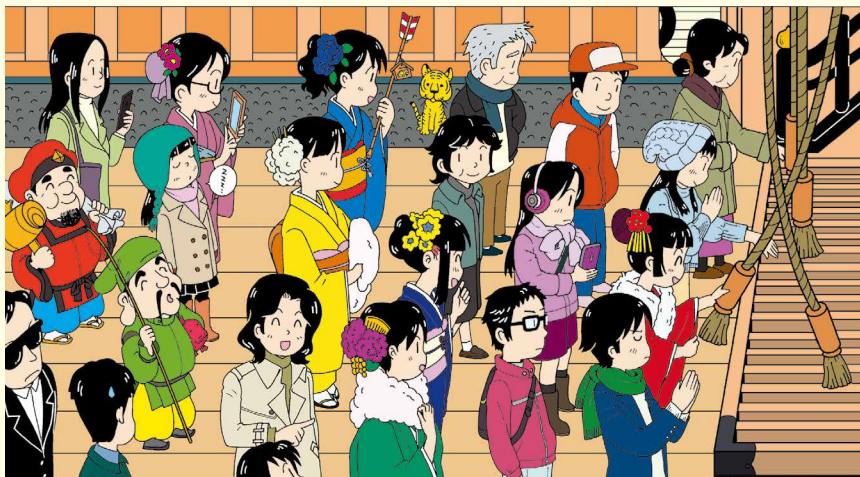
02 核兵器禁止 条約に 参加する日本へ

核兵器の非人道性を厳しく告発し、開発・実験・生産・保有から使用と威嚇に至るまで全面的に禁止した核兵器禁止条約は、国連で発効されてからまもなく1年です。しかし、核大国は核兵器を「抑止力」や平和のために必要と強弁し、禁止条約に反対しつづけています。日本は唯一の被爆国であるにもかかわらず、岸田首相は「禁止条約には保有国が1国も参加していない」ことを理由に禁止条約に参加せず、締約国会議へのオブザーバー参加も拒んでいます。

「広島・長崎の経験を持つ日本政府がなぜ、禁止条約に参加しないのか？」を追及していくために、声を大きくひろげていくときです。



左と右の画像の絵を比べると
7ヵ所のまちがいがあります。
どこでしょう？



応募方法

答え、住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、身近な出来事、ご意見、感想など、ひと言そえて下さい。ご意見、感想は、掲載させていただくことがあります。ご了承下さい。

- 当選者に薄謝 5名様分
- 締切 2022年1月末日
- 発表 2022年3月号にて

- あて先 〒755-0005
宇部市五十目山町15の7の1 医療生協健文会まちづくり
組合員活動支援部クイズ係まで
FAX: 0836-34-2512
メール: sosiki_kenbun@yahoo.co.jp
- 11月号の答え（まちがいさがし）

- ① 右上の本 ② 右上・手前の木 ③ 右下のボール
- ④ 中央・下の人帽子 ⑤ 左下のシャトル
- ⑥ 左端の人のズボン ⑦ その人の髪

当選者

常盤支部 前田 典子さん
岬支部 堀美 栄子さん
常盤支部 武田 洋子さん
岬支部 角本 聖史さん
下関支部 板倉千代子さん
おめでとうございます。

■転居及び氏名変更、亡くなられた場合（電話0836-1341-2510）までご連絡ください。



医療生活協同組合健文会 事業所案内

【2022年1月1日現在】

※年度途中で変更する場合もあります

宇部協立病院 〒755-0005 宇部市五十目山町16-23
TEL 0836-33-6111 FAX 0836-33-2277
(救急・労災指定) <https://www.mcoop-kenbun.jp/>

入院ベッド159床
内 科・外 科・整形外科・精神科・呼吸器科・消化器科・脳神経内科
循環器科・リハビリテーション科・放射線科・リウマチ科・糖尿病内分泌内科

当院は、いつどんな時でも、地域の皆さんが安心してかけられるよう救急体制をしています。 ※診療体制は変更する場合があります。

科目／曜日		月	火	水	木	金	土
内 科	一 般	西 村 根 宇 野 (糖尿病)	井 上 (白 藤 (リハビリ))	宇 根 (立 石 (総合))	宇 根 (野田・廣田 (総合))※	総合外来 西村～10:30	急患外来
	予 約		西村～10:30～上野	上 野 (糖尿病)	白 藤 (リハビリ)		
				藤 部 (総合)～11:30		宇 根 (糖尿病)	
			野 田 (総合)	西 村 (禁煙外来)	西 村	吉 見 (総合)	
	一 般	総合外来 野 田 (消化器)	野田・井上 (上 野 (糖尿病))	宇 根 (野 田 (総合))		総合外来 上 野 (糖尿病)	
	予 約		安 本※ (循環器)	白 藤 (リハビリ) 16:00～		吉 見 (総合)	
特 診		★脳神経内科					

★脳神経内科は、月1回の予約制となります。
※火曜日午後の内科安本の外来は、第2・4火曜のみとなります。木曜日午前の内科廣田の外来は、第2・4木曜のみとなります。
※木曜日午前の内科野田の外来は、第1・3・5木曜のみとなります。

科目／曜日		月	火	水	木	金	土
外 科	午 前	坂 田	坂 田		坂 田		
	午 後			坂 田			

科目／曜日		月	火	水	木	金	土
整形外科	午 前	上 野	上 野	上 野	上 野		
	午 後					上 野	

科目／曜日		月	火	水	木	金	土
精神科	午 前	永 岡		永 岡	永 岡	永 岡	
	午 後						

★精神科は予約制です。まずはお電話でご相談ください。

科目／曜日		月	火	水	木	金	土
訪問診療		立 石 西村(隔週)	西村	白 藤	立 石	坂田・立石	

生協小野田診療所

山陽小野田市くし山1丁目17-20

内科・家庭医療科・在宅医療科 (TEL 0836-84-2533)

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:30	廣田 玉野井 山本	廣田 玉野井 山本	廣田 玉野井 山本	廣田・野田 玉野井・山本	廣田 山本	第1・3玉野井 山本 第2・4・5廣田
午後 14:30～17:30	廣田 玉野井 山本	訪問 診療	廣田 玉野井 山本	訪問診療	廣田 山本	
夜診 17:30～19:30			廣田 玉野井 (交代)			

リハビリデイサービスたんぽぽ (TEL 0836-38-5775)

	1日コース	半日コース
時間	9:30～16:30	9:30～12:30 13:30～16:30
営業日	平日・祝日	平日

歯科・小児歯科・在宅歯科・インプラント科

《予約制》《急患応需》 (TEL 0836-84-6695)

	月	火	水	木	金	土
午前	9:00～ 11:00～ ～17:30	藤田 三田 三田	篠原 藤田 藤田	ローテーション勤務 篠原 藤田	藤田 三田 藤田	藤田または 篠原
午後	(往診) ～19:30	(藤田) 三田	(篠原) 藤田	(藤田) 藤田	(三田) 藤田	
延長診	～19:30	三田	藤田	篠原	藤田	

※第1水曜午後は休診です

生協高千帆介護センター

虹の居宅介護支援事業所 (TEL 0836-38-5755)

	月	火	水	木	金
8:50～17:30	○	○	○	○	○

山陽小野田市くし山1-34-7

虹の訪問看護ステーション山陽小野田 (TEL 0836-38-5765)

	月	火	水	木	金	土
8:50～17:30	○	○	○	○	○	

※365日24時間、常時連絡・対応体制をとっています。

生協上宇部クリニック 内科

宇部市海南町2-25 (TEL 0836-33-3395)

休診日 日曜・祝日・年末年始・夏期

	月	火	水	木	金	土(週交代)
9:00～12:30 受付:12:00まで	馬場	馬場	馬場	馬場	馬場	白藤・上野 西村・藤部 (1週交代)
14:00～17:30 受付:17:00まで	馬場	馬場	馬場 (往診日)	馬場 (2週交代)	馬場 (2週交代)	
17:30～19:30 受付:19:00まで			馬場			

※水曜日(午後)・木曜日(午後)は往診の関係で2週ごとに医師が変わります。
※介護相談も受け付けております。

生協下関歯科 歯科・小児歯科

下関市貴船町2丁目3-24 (TEL 083-224-0118)

《予約制》《急患応需》《休診日 日曜・祝日・年末年始・夏期》

☆毎月第1水曜日のみ午後休診。

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～13:00	○	○	○	○	○	～12:30
午後 14:00～17:30	○	○	○	○	○	
夜間 17:30～19:30		○		○		
最終受付	16:30	18:30	16:30	18:30	16:30	11:30

宇部協立病院デイケア

宇部市五十目山町16-23

(TEL 0836-33-6111)

【サービス提供時間】10:00～16:30

【休業】日曜、祝日、年末年始、夏期

○見学や体験を受け付けています。

協立デイサービスげんき(一般型)

宇部市末広町1-13

(TEL 0836-33-6220)

【サービス提供時間】9:20～16:30

【延長サービス提供時間】16:30～21:00

【休業】日曜のみ

※詳しくはそれぞれの事業所にお問い合わせ下さい

平和・社会保障学校

【日 時】2月4日(金) 10時～15時 【場 所】宇部協立病院・3階多目的室

【内 容】※講師調整中

- 10時00分～11時30分: 平和の学習テーマ「9条改憲」
- 11時45分～12時15分: レポート「下関戦跡フィールドワーク～加害の歴史」
- 13時30分～15時: 社保の学習テーマ「75歳以上医療費2割化」

【参加費】午前のみ500円/終日参加1000円

【参加メ切】1月28日(金)まで

【申し込み先】まちづくり組合同員活動支援部
TEL(0836)34-2510

※参加費は会場で当日集金
※マスク着用・暖かい服装でお越しください
※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、急な変更もあり



支部ニュースづくり学校

【日 時】1月27日(木) 13時～16時

【場 所】宇部協立病院・多目的室

【講 師】KOHCO株式会社 林田 孝一氏

【内 容】「インスタ映えする写真(60分)・
読みたくなる文章講座(60分)」

【参加条件】自前のスマートフォン・
タブレット持参(※らくらフォンは×)

【参加費】500円 【定 員】20名

【参加メ切】1月20日(木)または、

定員になり次第



ボランティア学校

【日 時】

1月18日(火)14時～16時

【場 所】宇部協立病院

3階多目的室

【参加費】無料

【定 員】20名まで

【参加メ切】1月11日(火)まで

ボランティア活動に
興味がある方、
どなたでも!



1・2
月度

「3つの学校」ご案内

健文会